

防災教育全体計画

大崎市立古川中学校

安全教育に関する法令等
・教育基本法 ・学校教育法 ・学校保健安全法及びその他関連法 ・教育委員会の方針、目標等
学習指導要領

学校教育目標
常に正しきを求めて 向上的態度を持とう 吉野作造博士「古川餘影」より
防災教育の目標(重点)
・「自らの身を守り乗り切る力」の育成 (自助) ・「知識を備え行動する力」の育成 (自助) ・「地域の安全に貢献する心」の育成 (共助・公助) ・「安全な社会に立て直す力」の育成 (共助・公助) ・「安全安心な社会づくりに貢献する心」の育成 (公助) ※自助: 自分を守る。 共助: 他者を助ける。 公助: 地域や社会の安全に貢献する。

安全に関する学校の現状等
・校舎は市街地に位置しており、周囲には家屋が数多く建ち並んでいる。学校周辺の道路の幅は狭いため、地震によって建物等が倒壊し通行できなくなる可能性が高い。 ・学区内のほとんどの地域で防災マップの作成や避難訓練を実施している。緊急時の連絡箱を作成している地域もある。今後は、中学生が地域行事等へ参加することが求められている。

各教科		学校防災推進の重点(視点)等		特別活動			
・自然災害の現状と対策 ・災害メカニズムの知識 ・地域の地理的特性 ・防災意識の高揚 ・ボランティアの理解 ・応急手当		<div>防災教育</div> <div>防災学習</div> <div>防災指導</div>	○教育活動全体(行事・各教科・特別活動等)を通じた防災教育の推進 ○災害発生時に活用できる生活能力の習得 ○避難訓練(地震・火災)の実施 ○防災教育の指導方法・内容の工夫および改善 ○Jアラートによる情報が伝達されたときの対処	学級活動	・災害時の自分自身の安全に加えて、災害時の被害者の救出や地震後の火災など二次災害を防ぎ、家庭や地域の人々の安全を守るために必要な事項を取り上げ、理解できるようにする。また、家庭や地域での災害に関する日常の備えに当たって、積極的な役割が果たせるようにする。		
			<div>防災管理</div>		○避難場所の設定 (第一:校庭, 第二:体育館, 第三:校舎屋上) ○危険箇所の確認 ○防災計画(マニュアルを含む)及び避難所運営マニュアルの見直し ○避難経路の点検 ○日常の災害に対する施設・設備の安全点検	生徒会活動	・生徒会サミットへの取組を通して、防災宣言を実現させるための活動や地区ごとの連絡網作りなど、自発的・自治的な活動を推進する。
					<div>組織活動</div>	○教職員の役割の明確化 ○家庭や地域及び関係機関との連携 ○教職員の防災対応能力や応急処置能力の向上 ○心のケア対応能力の充実	学校行事
道徳	・生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。 ・勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める。			部活動		・それぞれの個性、特技を生かしながら、集団への所属感、連帯感を高め、助け合いの心を育てる。 ・部活動中に地震が発生した際の避難行動についても理解させる。	

各学年の防災教育目標		
1 学年	2 学年	3 学年
・小学校までに学習した内容をさらに深めることができる。 ・交通安全や日常の安全に関して安全な行動をとることができる。	・応急手当の技能を身に付けることができる。 ・防災への日常の備えや的確な避難行動により安全を確保する行動ができる。	・自他の安全に対する自己責任感を持つことができる。 ・学校・地域の防災や災害時のボランティア活動等の大切さ、古川のまちづくりについて理解を深め、主体的に関わろうとすることができる。